

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	10 03 01	中期総合計画主要施策番号	1-06,1-07	担当課	部・課	建設部 道路管理課	
事業名	道路愛護活動促進事業				内 線	3397	
					E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H15 ~	根拠法令等	信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)実施要領・アダプトシステム支援事業協力拡大5ヶ年計画				
実施方法	直接実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	住民のボランティアによる道路の維持管理活動を促進し、県民の道路愛護意識の高揚を図り、地域との協働のもと効率的な道路の維持管理を図る
	対象	アダプトシステム協定団体、信州ロード観察隊員
	目指すべき姿	県民の道路愛護活動への参加を促進し、地域との協働のもと道路の維持管理を行う。(アダプトシステム支援事業協力拡大5ヶ年計画目標年度:平成22年度、目標団体数200、目標道路延長217km)
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県管理道路において、建設事務所・里親(地域住民団体、企業、学校等)・市町村の三者により協定を締結し、それぞれの役割を定め、里親がボランティアで行う道路の美化活動に対して、県は清掃・草刈り用具等を支給・貸与するなどの支援を行う「信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)」を普及し、道路愛護意識の高揚、道路環境の向上を図る。 ・住民参加による道路愛護活動中の事故に備えて、県は傷害保険に加入し活動を支援する。 ・県民からの応募により「信州ロード観察隊員」を任命し、道路に関する異常等の情報を収集することにより、維持管理等の効率化を図る。 ・HPによる事業内容の広報や活動状況などの紹介及び道路事業実施の際に地域住民に対し事業への参加を呼びかける。

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	22,154	31,051	31,048	需用費:30,000千円(消耗品等の支給)
	決算額 (B)	千円	22,104	22,090	-	
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	20,925	21,183	30,000	
	概算人件費	人	1.50	1.50	1.50	
	概算人件費 (C)	千円	12,476	12,387	12,387	
概算事業費 (B(H24はA) + C)			千円	34,580	34,477	43,435
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	道路愛護活動参加者数(活)	人	54,000	59,000	65,000	(効果指標算出式) 事業費÷道路愛護活動参加者
	信州ロード観察隊員通報件数(成)	件	79	100	100	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 道路愛護活動参加者一人当たり事業費	円/人	409	526		

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	アダプトシステム支援事業協力拡大5ヶ年計画に基づき、平成22年度目標に対して着実に推進する。	平成22年度目標を上回って達成することが出来た。	a 期待以上

事業の課題	区分	判定・説明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・住民との協働による効率的な道路の維持管理は、今後も普及拡大を図る必要があり、県の支援を継続する必要がある。 ・ボランティア活動が広く浸透してきており、道路維持活動への住民意識が高まってきている。 ・道路愛護意識の一層の高揚を図るため、広報活動や、知事表彰制度の活用など、より効果的・効率的な支援策の検討を更に進める。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路愛護に関する住民意識の高揚が図られ、地域との協働による効率的な道路の維持管理が普及してきているが、今後一層の拡大を図るため、より多くの人に道路愛護活動に参加してもらうための意識啓発や、道路愛護活動参加者の参加意欲が継続するための支援策等を検討する必要がある。 ・信州型事業仕分けの検討結果を踏まえ、職員によるワーキンググループを構成し、上記支援策を検討するとともに、協定団体代表者等による意見交換会を実施し、住民ニーズを把握し今後の支援策に生かす。
	特記事項	H22信州型事業仕分け実施事業